■ユニセフ議員連盟・世界の子どもたちのためにポリオ根絶を目指す議員連盟合同議員連盟会合

■2019年3月26日開催（衆議院第二議員会館）

■参加者

国会議員、UNICEF、ビル＆メリンダ・ゲイツ財団、独立行政法人国際協力機構（JICA）、非営利組織、ポリオ患者等

■内容

①ナイジェリア、パキスタン、アフガニスタンの3カ国が常在国として残っている②治安の問題が障壁となっており「ラストワンマイル」が一番難しい③日本で一番若いポリオ患者は2012年8月、不活化ワクチンへの切り替えが行われる1ヶ月前に保育所での2次感染によって発生した④日本にもポリオの診断がつかないまま苦しんでいる人がいる⑤各国からの資金調達において、反ワクチン運動が大きな問題となりつつある―といった情報が参加者の間で共有された。一方、ポリオ根絶のための資金メカニズムとして円借款を利用したローンコンバージョンが紹介された。